



No. 36

Full Bloom「満開」

耐雪梅花麗 みんながんばっています

入学試験前半戦 終了間近

冬休み中の推薦入試を皮切りに行われた私立高校の受験も、通信制高校2校を残すのみとなりました。受験日当日に雪が降った高校もありましたが、大きな交通渋滞や、受験できないような体調不良者が出ることもなく、無事に済んだことに安堵しています。

WEBでの入試手続きに伴い、合格証を自宅でプリントアウトする形式の高校もあります。私たち教員にとっては、合格証が手元にない状態で合格の報告をすることに、なんとなく違和感があります。合格者には、校長先生から改めて合格証をいただき、励ましの言葉をいただきました。どの生徒も、晴れ晴れとした表情で喜びをかみしめていたようです。学年からは、中学校生活のまとめをしっかりとやり遂げることを確認しました。今後も、「受験は団体戦」ということを忘れず、緊張感をもって学習に取り組んで、これから受験に向かう友達を応援してほしいこと、卒業関連の仕事の中心となってほしいことを話しました。

併願合格者は、確かな学力を身に付けた証として、私立高校に合格したことに誇りをもってほしいと思います。その自信が過信とならないよう、本命となる県立高校の合格に向けて、改めて受験対策にしっかりと取り組んでほしいと思います。



県立高校WEB出願

今週から、県立高校WEB出願手続きが始まっています。ご家庭で手続きを進めていただきますが、学校でも志願情報等を確認するため、段階ごとに校内締切を設定しています。

手続きの流れや校内締切の日程等については、過日配付しました【進路通信 No. 19】をご覧ください。分からないことがあれば、中学校までご連絡ください。確実に出願申請ができますよう、期日厳守でお手続きをお願いします。

主な日程

- 受験校確認書提出 ～1/21(水)
- 申請下書き 1/13(火)～ 23(金)
- 出願申請・検定料納付 1/26(月)～2/2(月)
- ※志願理由書提出 2/2(月)～ 5(木)
- ※出願申請承認 ～2/5(木)

来週の予定

3年生の下校時刻をお知らせしています▼

月日(曜)	1	2	3	4	5	6	行事等	給食	清掃	部活動	下校時刻
1/19(月)	自習	国語	技・家	英語	数学		学年末テスト 成蹊一般発表	○	○	○	15:30
20(火)	理科	音・美	社会	保体	火5	火6		○	○	○	16:15
21(水)	水1	水2	水4	水3	水5		受験校確認書提出締切	○	×	×	15:15
22(木)	木3	木4	木1	木2	木5	木6		○	○	○	16:15
23(金)	国語	数学	英語	理科	社会		第6回実力テスト 漢字検定 県立高校WEB出願申請下書き校内締切	○	○	○	15:30

優秀な成績で有終の美を飾ろう！

来週の月曜日・火曜日は、学年末テストです。中学校最後の定期テストとなりますので、一人一人が今まで以上の成績で定期テストを終えられるようにがんばってほしいと思います。

受験勉強と並行して、平日3～4時間以上の学習時間を確保できているでしょうか。ただし、私立高校入試に向けて、せっかく朝型の生活リズムに切り替えたものを、夜型に戻すのは考え物です。休養(睡眠)をしっかり取って健康管理を徹底するためにも、11:30頃までには就寝する生活を続けてほしいと思います。帰宅したらすぐに机に向かって1～2時間学習すれば、朝型の生活リズムを崩すことなく十分な学習ができます。

今回のテストへのがんばりが、県立高校前期選抜に向けての追い込みにも関わってきます。弱気になりがちな自分に打ち勝てるよう、ご家庭でもお声かけをお願いします。



数学に才能なんていない

数学が苦手な
あなたに送る

数学が苦手な人は、得意な人のことをこう思いがちです。「見たことのない問題を、その場のひらめきでスラスラ解いている天才」だと。でも、それは大きな間違いなんです。数学で飯を食っている人間だって、全く見たことも聞いたこともない未知の問題を「一から考えて解け」と言われたら、そう簡単には解くことはできません。それは本当に至難の業です。

では、なぜ解けるのか？ それは、頭の中に「解き方のパターン」がたくさんストックされているからなんです。目の前の問題を見て、「あ、これはあのパターンの変形だな」「あの公式とこの考え方を組み合わせればいけるな」と、過去の引き出しから「類推」しているだけなんです。

つまり、高校までの数学力の正体は、実はとてもシンプルな2つの土台【計算力(基礎体力)】【パターン認識(技のストック)】さえあれば、特別な才能がなくても、大学入試レベルの数学はちゃんと攻略できるんです。

ある高校1年生の男子生徒、A君のお話をしましょう。彼はとてもまじめで、優しい性格の子でした。英語や国語は得意で成績も優秀。いわゆる典型的な「文系タイプ」です。でも、数学だけはどうしても点数が取れない。「先生、ちゃんと勉強

強しているのに、テストになると手が動かないんです」そこでA君にこう伝えました。「参考書(チャート式問題集)を使おう。でも、解かなくていいから、覚えなさい」まじめな子ほど、一問一問うんうんうなって考え込んでしまい、時間が足りなくなります。でも、考えてもわからないものは、わからない。そして「5分考えてわからなかったら、すぐに解答を見ていい。その代わり、解答の流れ(ストーリー)を理解して、その解き方のパターンを覚えてしまおう」そう指導しました。

変化が起きたのは、半年後の模試でした。なんと、ずっと苦手だった数学の偏差値が、得意の英語や国語を抜いて、全科目で一番高くなったのです。結果表を持ってきたとき、彼は興奮気味にこう言いました。「先生、テストの問題を見たとき、『あ、これチャートの例題〇〇番と同じだ』って見えたんです！」これこそが、私が待っていた「類推」の力がついた瞬間でした。頭の中に「解法パターンのデータベース」ができたことで、初見の問題が「知っている問題」に見えるようになったのです。最終的に彼は、その数学力を武器に、見事国立大学に現役合格を果たしました。



〔Q.E.D.の向こう側〕25年分の「進路・教育・子育て」本音録/2026年1月7日 より抜粋

【合格へ一歩ずつ前進しよう】

数学に限らず、苦手な教科は「新研究」や「過去問」で克服！ 5分考えてわからなかったら、答えを見て、そのやり方を真似してみましょう。「悩む時間」を「真似ぶ(まなぶ)時間」に変えるだけで気持ちが楽になり、学力が身に付いてきますよ。